

a 学校教育目標	夢と高い志を抱き、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命)〇志を抱き、その実現に向けて考え、行動できる未来の創り手の育成 【ビジョン】(自校の将来像) 〇児童の確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育成する学校 〇自己研鑽に励み、子供に寄り添い、チームワークを大切にする教職員 〇保護者・地域に信頼される学校 【育成をめざす資質・能力】 〇課題発見・解決能力 〇コミュニケーション能力 〇主体性 〇自己理解
----------	----------------------------------	----------------------	--

評価計画				自己評価					改善方策	I 学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	7月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	改善方策	評価			
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ	
確かな学力 学び方の獲得と確かな学力の向上を図る。	(1) 基礎基本の定着、及び主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 〇学習分析(学力定着確認・学習環境把握)結果をもとに、具体的な対応策を明確にし、児童の学力向上を図る。	◎教職員の授業力向上(ファシリテーターとしての教師の役割) ・児童の「主体的な学び」を実現する授業づくり(日常生活との関わりや必要感のある教材、めあて・まとめ・評価の一体化、目標達成に向かう発問(本質的な問いの設定と問いの解決)、ICTの効果的な活用) ・「学び方の獲得」のための手立ての工夫	・毎月の「ファシリテーターアンケート」において、目標値(平均70%)を達成した教職員の割合	80										
		◎各種学力調査の活用と学習環境改善による学力の向上 ・学級、学習集団づくり ・学力調査、学習環境の結果分析をもとにした取組の実践	・単元末テスト目標平均点(低学年90点、中学年85点、高学年80点)以上の児童の割合	70										
	(2) 探究的学びの実現を図る。	◎「総合的な学習の時間」「生活科」における探究的学びの実現	・児童が主体的・協働的に探究することができる単元開発及び単元構成の工夫、効果的なカリキュラム・マネジメントを実施した教職員の割合 ・「地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えている」児童の割合	100 66										
		◎「考え、議論する道徳」の実践及び道徳科を要したカリキュラム・マネジメントの充実による学びを行動につなげる道徳教育の「継続と深化」 ◎学級活動、縦割り班活動、児童会・委員会活動などの特別活動等を通じた主体性等の育成	・「標準学力調査(12月実施)全国平均を上回る児童の割合	70										
豊かな心と元気な体 健やかな体と豊かな人間性を培う。	(1) 基本的な生活習慣の確立を図る。	◎挨拶・清掃・ベル着・靴揃え、机の整理・整頓の徹底 ◎生活習慣の改善を図る取組の実施	・学期に1回家庭での生活改善週間の取り組みを行う。 ・学期に1回アンケート調査を行い、肯定的評価をする児童の割合 肯定的評価をする教職員の割合	100 95 80										
		◎「考え、議論する道徳」の実践及び道徳科を要したカリキュラム・マネジメントの充実による学びを行動につなげる道徳教育の「継続と深化」 ◎学級活動、縦割り班活動、児童会・委員会活動などの特別活動等を通じた主体性等の育成	・道徳児童アンケートの重点項目(4項目)において、肯定的に回答した児童の割合 ・道徳科学習プログラムを作成し、実践した教職員の割合	85 100										
	(3) 健康の保持・増進と体力の向上を図る。	◎体力づくりと食育の推進	・特別活動等について、学期に1回アンケートを行い、肯定的記述評価をした児童の割合	90										
		◎「働き方改革」の推進を図る。	・体を動かすことが楽しいと感じる児童の割合 ・食べ物や食事を作る人に感謝しながら食べる児童の割合	80 90										
信頼される学校 保護者・地域の願いに応え信頼される学校づくりを推進する。	(1) 情報を公開し理解・信頼を高める。	◎保護者・学校関係者評価委員の客観的評価による改善 ◎地域貢献活動による、郷土愛の育成	・保護者アンケートによる肯定的評価の割合(年2回) ・学校関係者評価における肯定的評価4段階で3、2以上 ・年に2回のクリーン活動の実施、児童アンケートで「自分から積極的に活動に参加できた」「須波の地域に貢献したいと感じることができた」児童の割合	90 100 95										
		◎幼稚園等・中学校との連携による系統的・組織的な教育の推進	(小中合同授業、授業交流、合同研修、保幼小合同活動等の充実) ・学期に1回以上実施	100										
	(3) 「働き方改革」の推進を図る。	◎業務改善を図りながら主体的かつ協働的な業務の確実な遂行	・主体的・協働的に業務改善案を考え、行動する教職員の割合 ・月45時間以内の業務遂行 ・年休5日間以上取得者の人数	80 90 100										

【j:自己評価 評価】 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100 C:60≦(もう少し)<80
【I:学校関係者評価 評価】 I:自己評価は適正である。 ロ:自己評価は適正でない。 ハ:分からない。
D:(できていない)<60